

平成30年12月7日

大阪市立総合医療センター  
病院長 瀧藤 伸英

## 第7回 大阪市立総合医療センター薬薬連携研修会のご案内

### 謹啓

初冬の候、貴薬剤師会のますますご発展のこととお慶び申し上げます。また、平素は大阪市立総合医療センターの運営にご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、当センターは、がん診療拠点病院として、がん医療の均てん化の推進を図ることを目的とした平成19年施行のがん対策基本法に基づき、地域の医療機関との連携を推し進めているところです。また、平成24年6月に策定されたがん対策推進基本計画の重点的課題として、化学療法の一層の充実や治療の初期段階からの緩和ケアの実施が掲げられています。更に、平成25年2月に小児がん拠点病院の指定を受け、小児がん医療をより充実することも求められています。

特に、がん薬物療法の領域では、分子標的薬をはじめとする経口抗がん薬が選択される機会が増えつつあり、副作用対策においても支持療法の使用が複雑となってきました。また、緩和医療の分野において、オピオイド鎮痛薬の使用は、身体の状態や痛みの症状により、種類や剤形を工夫し、きめ細かなケアをする必要があります。しかしながら、患者さんが服用意義、服用方法などを十分にご理解・納得しなければ、アドヒアランスの低下により予後に影響する可能性があります。

このような背景のもと、平成24年度から「大阪市立総合医療センター薬薬連携研修会」を開催し、地域の保険薬局の先生方と連携をより深め、当センターでがん治療を受ける患者さんの薬剤指導を効果的にを行い、薬物療法の質の向上・安全性の確保を目的とした薬薬連携を推進してまいりました。

今年度につきましても、下記の通り「第7回 大阪市立総合医療センター薬薬連携研修会」を開催いたしますので、貴薬剤師会会員の先生方にご周知頂けますようお願い致します。

謹白

### 記

日 時: 平成 31 年 2 月 9 日(土) 15時 ~ 16時40分(開場 14時30分)

場 所: 大阪市立総合医療センター大会議室(カフェ・ド・クリエ横エレベーターで3Fへ)

研修内容: 講演1「乳癌の病態と化学療法について」

大阪市立総合医療センター 腫瘍内科副部長 徳永 伸也

講演2「乳癌の化学療法における副作用マネジメント」

大阪市立総合医療センター がん専門薬剤師 吉田 徹也

問合せ先: 大阪市立総合医療センター 薬剤部 土井 克彦

電話 06-6929-1221(代)

第7回 大阪市立総合医療センター薬薬連携研修会プログラム

受付及び進行：吉田 徹也 山崎 直樹

	時 間	内 容
受付	14:30～15:00	開場・受付
開会	15:00～15:05	開会の挨拶 大阪市立総合医療センター 薬剤部副部長 土井 克彦
講演 1	15:05～15:55	「乳癌の病態と化学療法について」 大阪市立総合医療センター 腫瘍内科副部長 徳永 伸也
休憩	15:55～16:00	
講演 2	16:00～16:30	「乳癌の化学療法における副作用マネジメント」 大阪市立総合医療センター がん専門薬剤師 吉田 徹也
質疑・応答	16:30～16:35	
閉会	16:35～16:40	閉会の挨拶 大阪市都島区薬剤師会会長 橋本 靖子先生

第7回大阪市立総合医療センター薬業連携研修会（2月9日）

参加申し込みします。

お名前：

薬局名：

連絡先（TEL）：

平成31年1月25日（金）締め切り  
申し込みFAX 06-6924-2028  
小島太陽堂薬局 橋本靖子 までお願いします。